

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

報告日 令和7年 11月 28日

P T A名	静岡県立西部特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	小中高訪 125人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子黒板（ディスプレイ型）
使用学年及び人数	中学部1, 2, 3年 18人
使用頻度	常時
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科、特別活動、行事、昼休みなどに、各生徒の実態に合わせて使用している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・I 類型各教科の指導において、教科書を電子黒板に映し出し、説明に合わせて補助的な書き込みを行ったり、生徒の考えを直接書き込んだりすることで、生徒の思考が視覚的に整理され、主体的で深い学びにつながっている。 ・大きな画面で映像を流すことで、見えにくさのある生徒や集中力の持続が難しい生徒が興味をもって見ることができ学びが深まっている。 ・美術の授業や昼休みにおいて、画面を使って自由に描くことの楽しさを知り、様々な色を使って時間いっぱい描き続けていた。また、教師と会話をしながら想像力を膨らませることもできている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申請理由「視覚的な支援を充実させ、生徒が主体的、対話的で深い学びのある授業を行う」について、上記の通り、十分生かすことができている。今後も、今年度同様の使い方をしていきたい。 ・課題としては、重度の生徒にとって効果的な電子黒板の使用方法を考えていきたい。
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子

教科書を映し出し、直接書き込みを行いながら説明を行っている。(英語)



教師と対話をしながらサンタの絵を描き、好きな色を付けている。(昼休み)

